shindaiwa®

ヘルメット洗浄機

取 扱 説 明 書

型 式

HMW-IOI

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　　次

目次
安全にご使用いただくために…… 3
1. 付属品の確認 …… 6
2. 警告表示ラベル …… 7
3. 各部の名称 …… 8
4. 装備 …… 9
5. 作業の準備 ……11
5-1. 組み立て ……11
6. 運転方法 ……12
6-1. 設置 ……12
6-2. 洗浄準備 ……13
6-3. 洗浄作業 ……14
6-4. 洗浄終了後 ……15
7. 点検・整備 ……16
8. 長期保管 ……17
9. 故障対策 ……18
9-1. 故障診断表 ……18
10. 仕様 ……19

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書

○ この取扱説明書には、製品の組立や操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので良く読んで理解してください。
○ この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。
○ 製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。
○ 使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
○ 損傷により読めなくなったり、紛失した場合には、販売店から購入してください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

○ この製品は作業用ヘルメットの洗浄をするためのものです。スポーツ・二輪車用等のヘルメットには使用できません。
○ 本書に記載されている用途以外に使用しないでください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

○ 製品を改造しないでください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

○ 定期的な点検・整備をしてください。
○ カバーを外したままで運転しないでください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

○ 製品を貸すとき、借りて作業する人に取扱説明書を読ませ、十分な指示、訓練を行った後、取扱説明書と製品を貸与してください。
○ 製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者

○ 体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。
○ 次のような人は使用しないでください。
・ 妊娠している人
・ 16 歳未満の人
・ 取扱説明書の内容を理解していない人
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

○ 必ず単相交流 100 V のコンセントを使用してください。
○ 電源プラグはアースピンでアース接地を施してください。
○ 運転中は、すべてのカバーをきっちりと閉めてください。
○ 本機に水をかけたり、雨中での使用はしないでください。
○ 本機から出る水以外に本機が水にかからない場所で使用してください。
○ 運転中は、内部の配線や電気部品に触れないでください。
☆ 感電の原因となります。

○ 作業終了後または点検・整備時は必ず圧縮空気を抜き切ってください。
☆ 圧縮空気が溜まった状態で衝撃が加わったときにコンプレッサーのエアタンクが破裂する原因となります。

⚠ 注意

製品の使用環境・作業環境

○ 直射日光の当たる場所で設置、使用しないでください。
○ 周囲環境温度 40℃以上の場所で使用しないでください。
☆ やけどの恐れがあります。

○ 本機を吊り上げるときは、ゆっくり真上に上げてください。
○ 吊り上げた本機の下には入らないでください。
○ 吊り上げ作業を行う場合は、ヘルメット・安全靴・手袋などを使用してください。
○ 本機をトラックなどで運搬するときはロープなどでしっかり固定し、本機が動かないようにしてください。
○ 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、キャスターは必ずロックしてください。
○ 運転中に本機を移動しないでください。
☆ けがをする恐れがあります。

健康管理

○ 皮膚に洗剤が付着した場合、皮膚を流水と石鹸で洗ってください。
皮膚刺激などが生じた場合は、医師の処置を受けてください。
○ 洗剤が目に入った場合はすぐに清潔な水で 15 分以上洗ってください。
コンタクトレンズを着用している場合は、コンタクトレンズを外して目を洗ってください。
眼刺激が持続する場合は、医師の治療を受けてください。

重要

○ 運転・保管・持ち運び・輸送などで製品を横倒しにしないでください。
☆ 製品に不具合が生じる恐れがあります。

安全にご使用いただくために

警告表示について

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、けがを負う恐れのあるものです。

その他の表示について



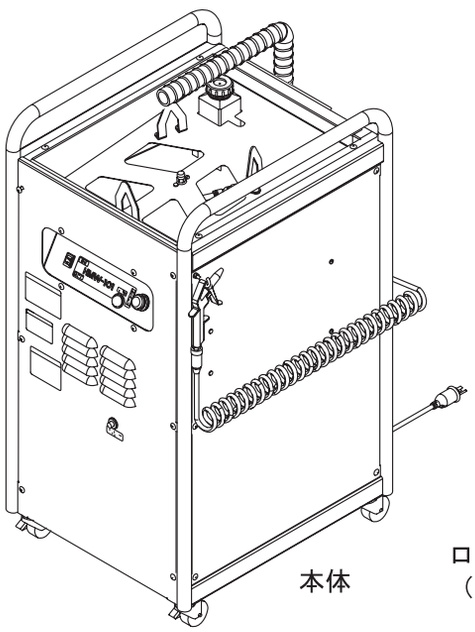
丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

1. 付属品の確認

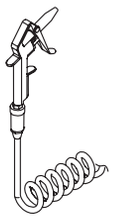
○ 欠品や破損がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



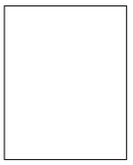
本体



ロックナット付きフックボルト
（エアブローガン掛け用）



エアブローガン



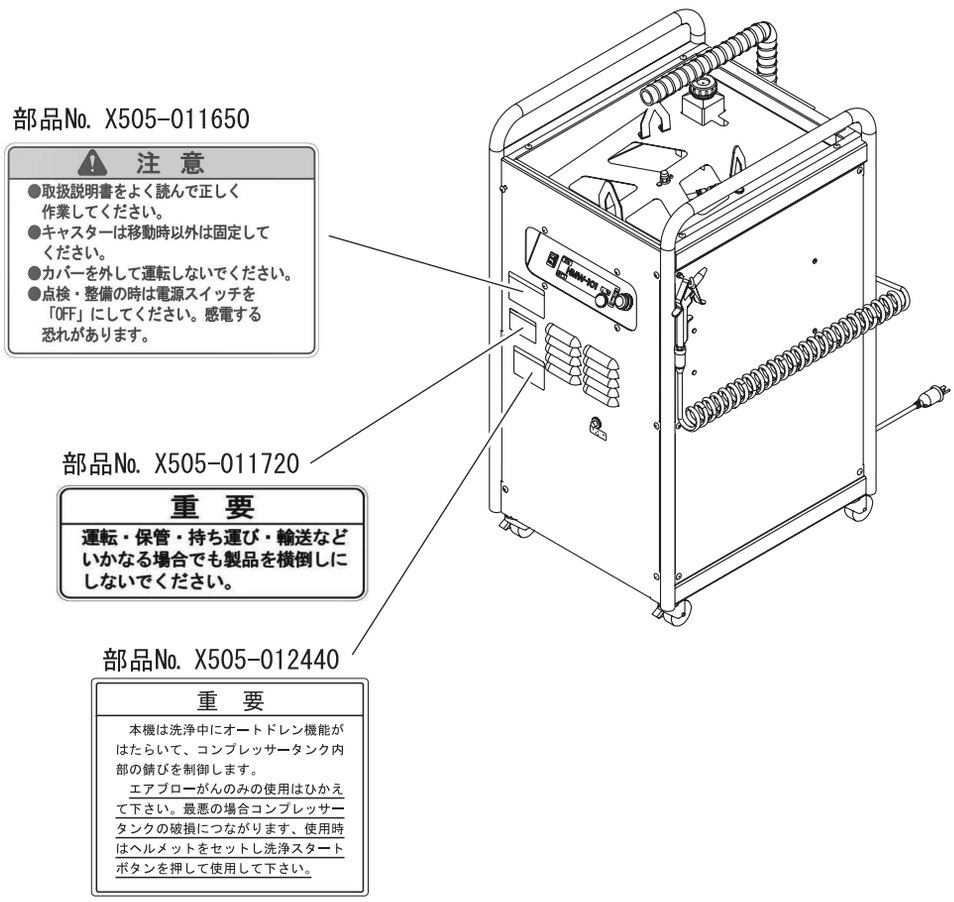
取扱説明書



保証書

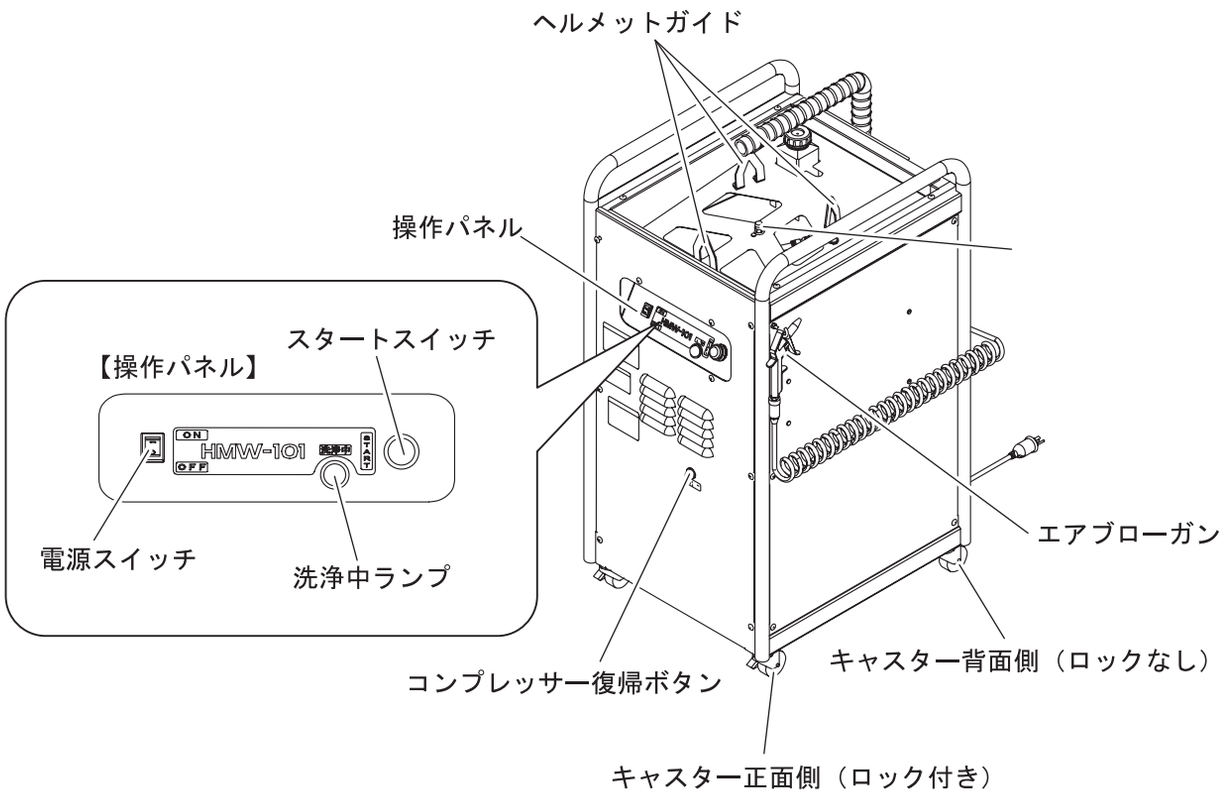
2. 警告表示ラベル

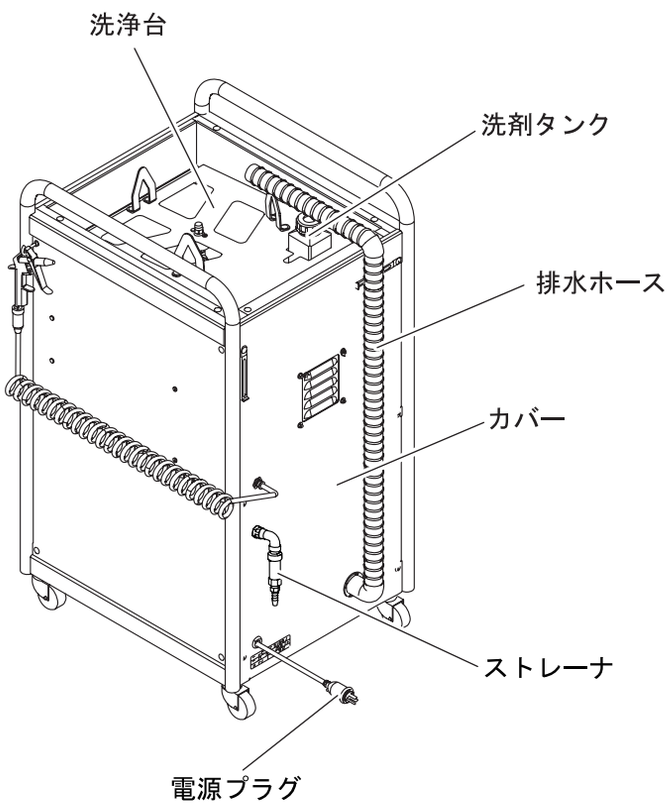
○ 本書で説明している製品の警告表示ラベルを示しています。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
○ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



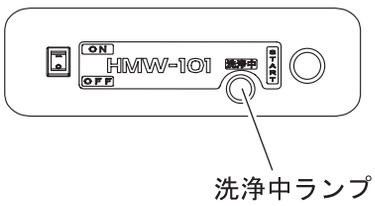
3. 各部の名称

○ 本書で説明している製品の名称を示しています。ご使用前に各部の名称を理解してください。



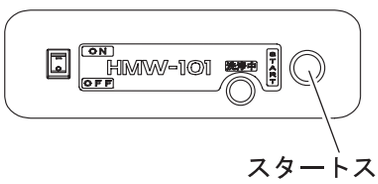


4. 装備



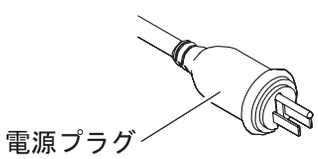
洗浄中ランプ

洗浄作動中に光るランプを装備しています。



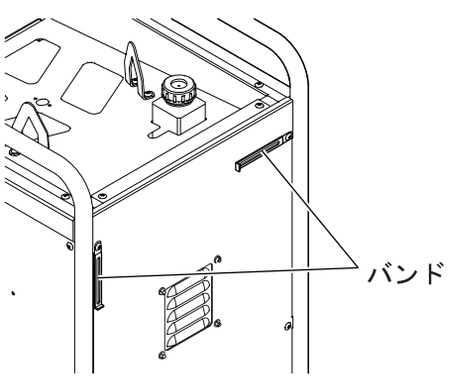
スタート（ストップ）スイッチ

スタートスイッチは、長押し（0.5 秒以上）すると洗浄が始まります。また、洗浄中に短く押すと洗浄がストップします。



電源プラグ

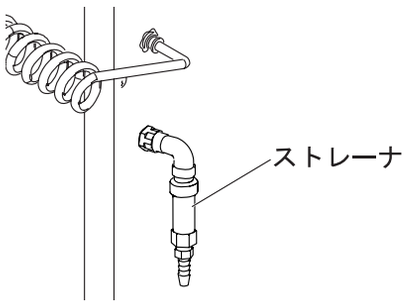
2 極接地型プラグは、アースピンを倒すことでアースピン差込口のないコンセントにも差し込むことが可能です。



電源コード・排水ホース留めバンド

背面カバーには、電源コードと排水ホースを止めるためのバンドを装備しています。
バンドは自在に折り曲げが可能です。本機を移動させる場合は、このバンドに電源コードと排水ホースを留めてください。

4. 装備



給水ストレーナ

給水口には水道からの異物混入による不具合を防ぐためにストレーナを装備しています。

コンプレッサー自動停止

本機はコンプレッサーを搭載しています。
コンプレッサーは、空気を圧縮しきると自動で停止します。
洗浄またはエアブローガンを使用し、一定の圧力まで低下すると再びコンプレッサーが起動します。

コンプレッサーエアタンク自動ドレン

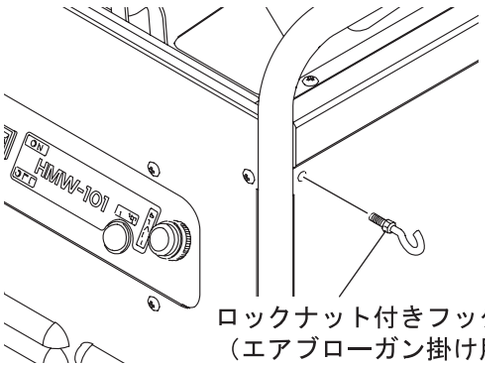
コンプレッサーのエアタンク内に溜まる水は、洗浄作業中に自動で排水ホースへ排出されます。
エアタンク内の水を手動で排出する必要がありません。

過電流・過熱保護回路

コンプレッサーは、モーター焼損防止のための保護回路が付いております。
モーターが過負荷状態になった場合に保護回路が作動し電源が切れます。
保護回路が作動するとコンプレッサーの復帰ボタンが押せるようになります。
保護回路が作動した場合は、15 ページ「保護回路が作動したときの再起動」に従って再起動させてください。

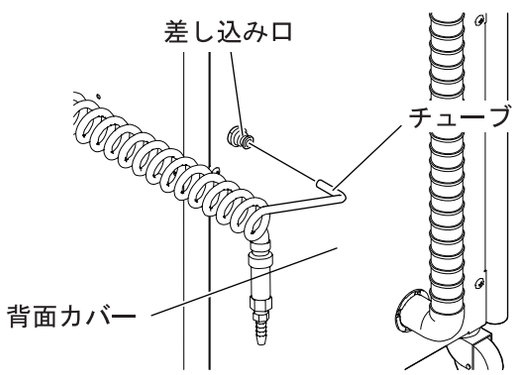
5. 作業の準備

5-1. 組み立て



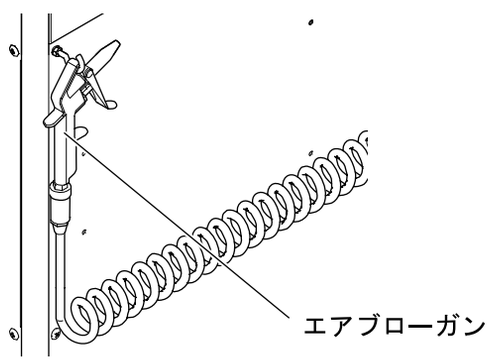
エアブローガンの取り付け

1. 図に示す側面カバーのボルトを＋ドライバーで取り外してください。
2. 取り外した箇所にロックナット付きフックボルトをねじ込み、フックが上向きになる状態でロックナットを締め付け固定してください。



3. エアブローガンのチューブを背面カバーの差し込み口に差し込んでください。

重要
○チューブは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込んでない場合、エアー漏れの原因になります。



6. 運転方法

⚠ 警告

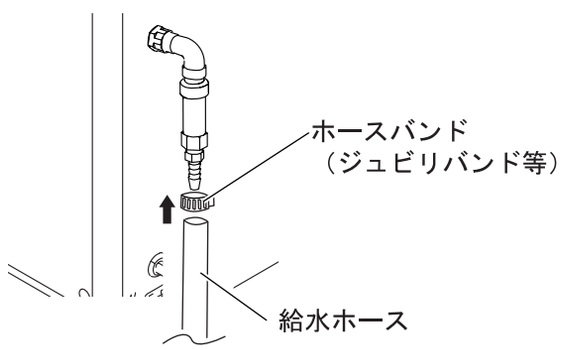
- ○ 必ず単相交流 100 V のコンセントを使用してください。
- ○ 電源プラグはアースピンでアース接地を施してください。
- ○ 運転中は、すべてのカバーをきっちりと閉めてください。
- ○ 本機に水をかけたり、雨中での使用はしないでください。
- ○ 本機から出る水以外に本機が水にかからない場所で使用してください。
- ○ 運転中は、内部の配線や電気部品に触れないでください。
  感電の原因となります。

⚠ 注意

- ○ 直射日光の当たる場所で設置、使用しないでください。
- ○ 周囲環境温度 40℃以上の場所で使用しないでください。
  やけどの恐れがあります。
- ○ 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、キャスターは必ずロックしてください。
- ○ 運転中に本機を移動しないでください。
  けがをする恐れがあります。

6-1. 設置

本機は水を使用するため、周囲に水が飛び散る場合があります。
周囲に水が飛ぶことによる被害が起きない場所で作業（設置）してください。



1. 給水口と水道蛇口をホースで接続してください。
   ホースはホースバンド等で固定してください。
2. 排水ホースを排水溝に向けて設置してください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

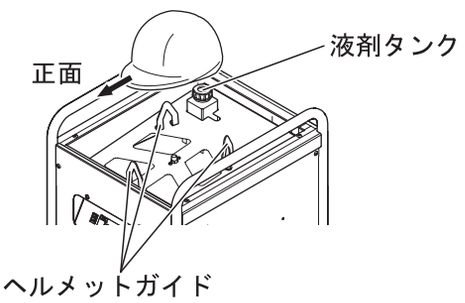
重要

- ○ 給水用のホースと固定用のホースバンドは、本機には付属していません。
- ○ 給水用のホースは、耐圧 0.5 MPa 以上のホースを使用してください。
  耐圧が低いとホースが裂ける恐れがあります。
- ○ 給水用のホースは、なるべく短いものを使用してください。
  ホースの長さが長いと圧力損失により洗浄性能が低下する恐れがあります。
- ○ 給水ホースの接続は、バンド等でしっかり固定してください。
  水漏れの原因となります。
- ○ 水道は一般水道水を使用してください。
  工業用水を使用した場合、異物が混入して本機に不具合が生じる恐れがあります。
  また、水圧が不適正であった場合に本機に不具合が生じたり、洗浄性能が低下する恐れがあります。

6. 運転方法

6-2. 洗浄準備

⚠ 注意
○ ヘルメットは必ず正しく設置してください。 ヘルメットがセットされていない状態でも洗浄が開始されるため、洗剤を浴びる恐れがあります。 ○ 皮膚に洗剤が付着した場合は、皮膚を流水と石鹸で洗ってください。 皮膚刺激などが生じた場合は、医師の処置を受けてください。 ○ 洗剤が目に入った場合は、すぐに清潔な水で 15 分以上洗ってください。 コンタクトレンズを着用している場合は、コンタクトレンズを外して目を洗ってください。 眼刺激が持続する場合は、医師の治療を受けてください。 ○ ヘルメットを設置するときに、洗浄台のすき間や穴などの角で手を傷つけないように注意してください。



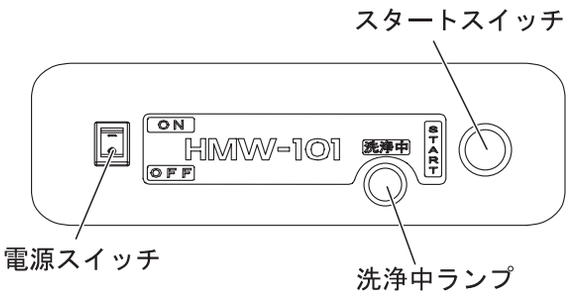
1. 洗剤タンクの中に洗剤を補給してください。

重要
○ 必ず指定の専用洗剤を使用してください。 専用洗剤部品番号　X805000 － 010 専用洗剤以外を使用した場合、本機に不具合が生じたり、洗浄性能が低下する場合があります。

2. 水道蛇口を最大まで開き、本機に水を補給してください。給水ホース接続部に水漏れがないかを確認してください。
3. ヘルメットをヘルメットガイドの内側に正しい向きでセットしてください。

6. 運転方法

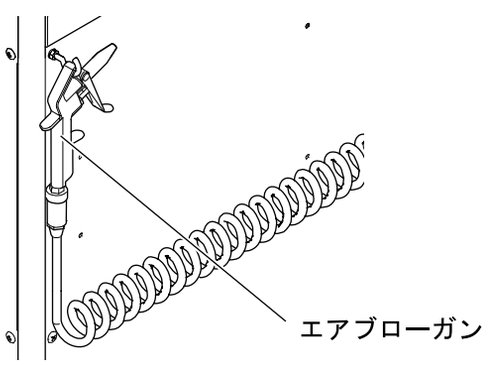
6-3. 洗浄作業



1. 電源スイッチを『ON』(ー) にし､コンプレッサーを起動してください。
2. 空気が圧縮されてコンプレッサーが自動停止するまで待機してください。(約 85 秒)

重要
○コンプレッサーが自動停止した後に洗浄をスタートさせてください。 空気の圧縮不足により洗浄性能が低下する場合があります。洗浄後、再びコンプレッサーが起動して自動停止されるまで約 20 秒の時間を要します。

3. コンプレッサーが停止したらスタートスイッチを長押し (0.5 秒以上) し、洗浄をスタートさせてください。
   洗浄時間は約 45 秒で、洗浄中の間は洗浄中ランプが点灯します。
   洗浄の途中にスタートスイッチを短く押すと (0.5 秒未満) 洗浄が中断されます。
   洗浄の途中にスタートスイッチを長く押すと (0.5 秒以上) 洗浄がリスタートします。

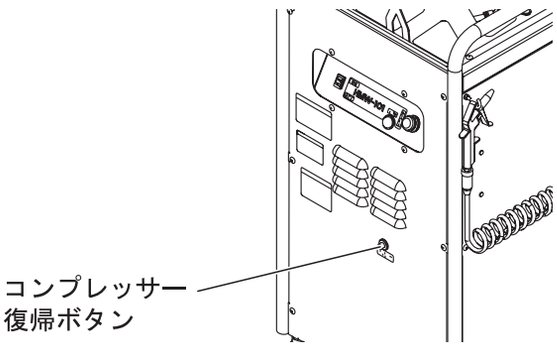


4. 洗浄が終わったら付属のエアブローガンで水を切り、よく乾燥させてください。

6. 運転方法

保護回路が作動したときの再起動

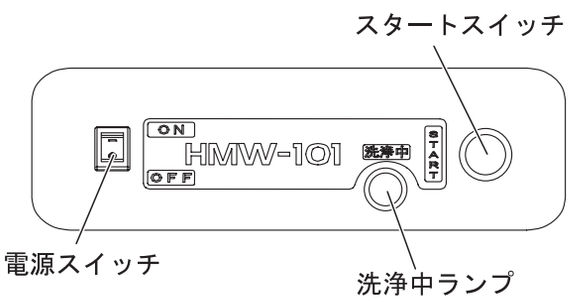
本機に搭載されているコンプレッサーは、モーター焼損防止のための保護回路が付いております。
保護回路が作動した場合は、次の手順で再起動させてください。



1. 電源スイッチを『OFF』（ O ）にします。
2. 電源プラグをコンセント抜きます。
3. エアブローガンからエアーを出し、圧縮空気を抜き切ります。(10 分間待機)
4. カバーの内側にあるコンプレッサーの復帰ボタンを押します。
5. 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを『ON』（ ー ）にします。

6-4. 洗浄終了後

洗浄作業が終了したら次の手順をおこなってください。



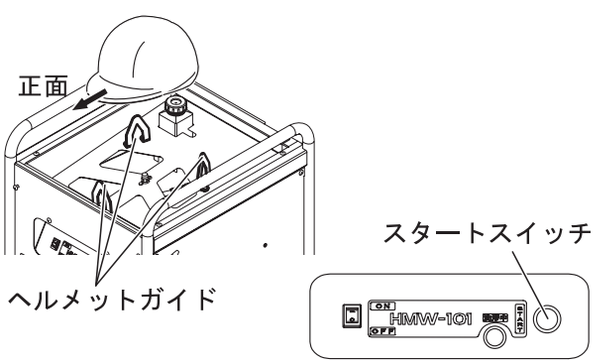
1. 電源スイッチを『OFF』（ O ）にします。
2. 電源プラグをコンセントから抜きます。
3. エアブローガンからエアーを出し、圧縮空気を抜き切ります。
4. 水道蛇口を閉めて､本機への水の供給を止めます。

⚠ 警告

○作業終了後は、必ず圧縮空気を抜き切ってください。
圧縮空気が溜まった状態で衝撃が加わったときにコンプレッサーのエアタンクが破裂する原因となります。

重要

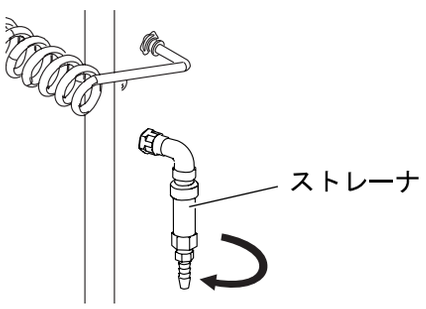
○エアブローガンのみを連続して使用した場合は、内蔵コンプレッサの中に結露水が溜まり続けます。使用後に洗浄台にヘルメットを置いてスタートスイッチで洗浄を開始させ、エアタンク自動ドレン排水をおこなってください。



7. 点検・整備

⚠ 警告
○ 点検・整備時は、電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。 感電の原因となります。 ○ 点検・整備時は、必ず圧縮空気を抜き切ってください。 圧縮空気が溜まった状態で衝撃が加わったときにコンプレッサーのエアタンクが破裂する恐れがあります。

本機は水を使用するため、周囲に水が飛び散る場合があります。
周囲に水が飛ぶことによる被害が起きない場所で作業してください。



ストレーナの清掃

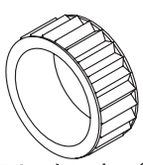
ノズルからの水の噴射が弱くなったと感じた場合、給水口のストレーナに異物が詰まっている可能性があります。
次の手順でストレーナの清掃をしてください。

1. 水道蛇口が閉まっていることを確認し、給水口から給水ホースを取り外します。
   給水ホースを取り外すときに、水が勢いよく飛び出る場合があります。
2. ストレーナの下側を時計まわりに回し、ストレーナを外します。
3. ストレーナの中にあるフィルターの異物を取り除き、ストレーナを本機に取り付けます。

フィルタの交換
各フィルタを1年に1回を目安に交換してください。
交換作業については販売店へお求めください。



エアフィルタエレメント（ドレン）



エアフィルタエレメント（コンプレッサ）

ドレン配管のエアフィルタエレメント：
フィルタが詰まるとエアタンクの自動ドレンがはたらかなくなり、エアタンク内の錆びを促進させてエアタンク破損につながります。

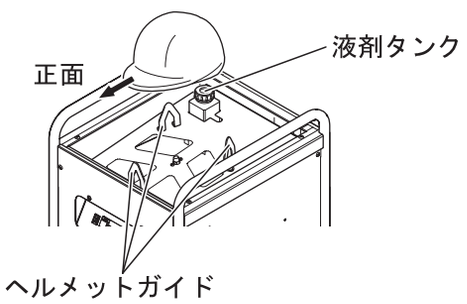
コンプレッサのエアフィルタエレメント：
フィルタが詰まるとコンプレッサに負荷がかかり、保護回路がはたらきやくなり頻繁にコンプレッサが停止します。

8. 長期保管

⚠ 警告
○ 必ず圧縮空気を抜き切ってください。 圧縮空気が溜まった状態で衝撃が加わったときにコンプレッサーのエアタンクが破裂する恐れがあります。

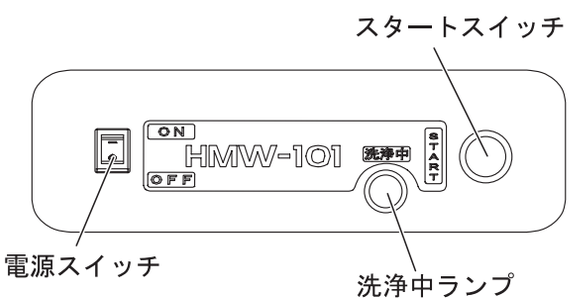
重要
○ 直射日光の当たる場所で保管すると洗剤タンク等の部品が劣化する恐れがあります。 ○ 寒冷時に保管するときは、凍結による破損を防ぐため、水抜きを完全に行ってください。

本機を1ヶ月以上使用しないときは、次の手順で本機内の配管を洗浄し保管してください。



1. 洗剤タンク内の洗剤を空にします。
2. 洗剤タンク内を水道水で洗浄します。
3. 洗剤タンクに水を入れます。
4. ヘルメットをヘルメットガイドにセットします。

5. 給水ホースを給水口と水道蛇口に接続し、水道蛇口から水が供給されている状態にします。



6. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを『ON』(ー)にします。
7. スタートスイッチを押し洗浄をスタートさせます。
8. 洗浄が終了したら再度スタートスイッチを押し、合計5回洗浄作業をします。
9. 電源スイッチを『OFF』(○)にし、洗剤タンクの水を空にします。
10. 水道蛇口からの水の供給を止めて、給水ホースを給水口から取り外します。
11. 電源スイッチを『ON』(ー)にし、スタートスイッチを押し洗浄をスタートさせます。
12. 洗浄が終了したら再度スタートスイッチを押し、合計3回洗浄作業をします。
13. 電源スイッチを『OFF』(○)にし、コンセントから電源プラグを抜きます。
14. エアブローガンから圧縮空気を抜き切ります。
15. ストレーナの清掃をします。
(16ページ「ストレーナの清掃」を参照)
16. 暗所、環境温度5℃以上で埃が被らないように保管します。

9. 故障対策

⚠ 警告

○ 点検・整備時は、電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
○ 作業終了後または点検・整備時は、必ず圧縮空気を抜き切ってください。
圧縮空気が溜まった状態で衝撃が加わるとコンプレッサーのエアタンクが破裂する原因となります。

・ 点検・整備には、専門的な知識が必要です。
ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合や、表中に記載されていない故障のときは、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
・ 販売店にご相談するときは、製品の状況と合わせて「型式名」・「製造番号」をお知らせください。
・ 製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください。

9-1. 故障診断表

不調の状況	原因	処置
コンプレッサーが起動しない	1. コンプレッサーの自動停止機能 2. コンプレッサーの保護回路の作動 3. エアタンク内の空気が圧縮された状態になっている	1. 処置の必要なし 2. コンプレッサーの再起動 15 ページ「保護回路が作動したときの再起動」参照 3. エアブローガンから圧縮空気を抜く
ノズルから水がでない	1. 水道蛇口の圧力が低い 2. 給水ホースが長い 3. ストレーナの詰まり	1. 水道蛇口を最大まで開く 2. 給水ホースを短くする 3. ストレーナ清掃 16 ページ「ストレーナの清掃」参照
スタートスイッチを押しても洗浄が始まらない	1. スイッチを押す時間が短い 2. 電源スイッチが OFF になっている 3. 電装部品の不具合	1. 長押し（0.5 秒以上） 2. 電源スイッチを ON にする 3. 販売店へ依頼
洗浄が終わったあとでノズルから水が出つづける	1. 異物混入 2. 配管部品の不具合	1. 別の水道蛇口で複数回運転 2. 販売店へ依頼

本機は水を使用するため、周囲に水が飛び散る場合があります。
周囲に水が飛ぶことによる被害が起きない場所で作業してください。

10. 仕様

型式名			HMW-101
項目		単位	
定格電圧		V	単相 AC100
消費電力		W	600
乾燥質量		kg	51
外形寸法	全長	mm	572
	全幅	mm	451
	全高	mm	911
コンプレッサー	型式	-	C550-24
	吐出圧力	MPa	0.4
	エアタンク容量	L	8
給水口径		mm	16
洗剤タンク容量		mL	250
1サイクルの洗浄時間		s	45
1サイクル時の水使用量		L	2.1　※水圧 0.35 MPa
1サイクル時の洗剤使用量		mL	1.8　※使用環境 30℃
ストレーナメッシュサイズ		-	80

＊この仕様は予告なしに変更することがあります。

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X7506300X

(C) 2026　株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。